

2022年6月30日
日経CNBC
社長出演資料（一部抜粋）

■商号変更について

変更日：2022年4月1日

新商号 「住友ファーマ株式会社」（英文商号：「Sumitomo Pharma Co., Ltd.」）

 Sumitomo Pharma

2022年度業績予想と改定中計2022との差異分析

	2022年度業績予想	2022年度中計経営目標 (2021年5月改定)
売上収益	5,500 億円	6,000 億円
販売費・一般管理費	2,835 億円	2,620 億円
研究開発費	930 億円	930 億円
コア営業利益	300 億円	600 億円
ROIC	0.7 %	3 %
ROE	3.6 %	3 %
対米ドル為替レート	125 円	110円

■北米市場

精神神経領域

LATUDA® (ラツータ)

売上収益	2,041億円 (2021年度)
発売日	2011年2月
効能	統合失調症、 双極 I 型障害うつ



2023年2月に
独占販売期間終了 (LOE)

がん、その他の領域

ORGOVYX® (オルゴビクス、レルゴリクス単剤)

売上収益	93億円 (2021年度)
発売日	2021年1月
効能	前立腺がん



販売拡大に注力する3製品

MYFEMBREE® (マイフェンブリー、レルゴリクス配合剤)

売上収益	13億円 (2021年度)
発売日	2021年6月
効能	子宮筋腫



GEMTESA® (ジェムテサ)

売上収益	71億円 (2021年度)
発売日	2021年4月
効能	過活動膀胱 (OAB)



研究領域

アンメット・メディカル・ニーズの高い領域を重点領域とし、革新的な新薬の創出に全力を注ぐ

重点領域

精神神経領域

- ✓ 継続的な製品創出の実績
- ✓ 培ってきた研究開発ノウハウ
- ✓ 先端技術活用の創薬

がん領域

- ✓ 独自技術の研究開発
- ✓ アカデミアやベンチャーとの強固なネットワーク

再生・細胞 医薬分野

- ✓ iPS細胞由来の細胞製品の事業化を目指すトップランナー

感染症領域

グローバルヘルスに貢献

アカデミア等との共同研究により、薬剤耐性菌感染症治療薬、マラリアワクチンおよびユニバーサルインフルエンザワクチンの研究を展開

フロンティア事業

医薬品以外のヘルスケア領域において、課題解決のための新たなソリューションを提供

■外部リソースの積極的な活用による企業価値向上

大塚製薬とulotaront（SEP-363856）、SEP-4199、SEP-378614、SEP-380135を対象としたグローバルな共同開発および共同販売に関するライセンス契約を締結（2021年9月）

 Sumitomo Pharma

 sunovion










 Otsuka

ulotaront の開発中の適応症

- ✓ 第1適応症：統合失調症
- ✓ 第2適応症：大うつ病補助療法
- ✓ 第3適応症：検討中

製品上市目標（2022年5月13日現在）

- : 精神神経領域
- : 再生・細胞医薬分野
- : その他の領域

	 ulotaront (SEP-363856) (統合失調症)	 ラツータ (新効能：双極Ⅰ型障害うつ)	 他家iPS細胞由来 細胞医薬 (パーキンソン病) *	 マイフェンブリー (新効能：子宮内膜症) 審査終了目標日：2022年8月	 lefamulin (細菌性市中肺炎)	 他家iPS細胞由来 細胞医薬 (加齢黄斑変性) *	 ulotaront (SEP-363856) (統合失調症)
2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度			

*連携先との合意ではない当社の目標

















再生・細胞医薬分野 事業化計画 (2022年5月13日現在)

* 上市目標は連携先との合意ではない当社の目標

予定適応症等	連携先	予定地域	細胞種	実施状況
小児先天性無胸腺症 (リサイミック)	デューク大学	Global	培養胸腺組織	2022年3月販売開始 (米国)
加齢黄斑変性	ヘリオス 理化学研究所	Global	他家 iPS細胞由来 網膜色素上皮	臨床研究実施中 2022年度の企業治験開始 に向けて準備中 (日本)
パーキンソン病 (先駆け審査指定制度対象)	京都大学iPS 細胞研究所 (CiRA)	Global	他家 iPS細胞由来 ドパミン神経 前駆細胞	医師主導治験実施中 (フェーズ1/2試験) 2024年度上市目標* (日本)
網膜色素変性	理化学研究所	Global	他家 iPS細胞由来 網膜シート (立体組織)	臨床研究実施中
脊髄損傷	慶應義塾大学 大阪医療センター	Global	他家 iPS細胞由来 神経前駆細胞	臨床研究実施中
腎不全	東京慈恵会医科大学 バイオス	日本 北米	自家/他家 iPS細胞由来 ネフロン前駆細胞 (立体臓器)	非臨床試験実施中

製品上市目標（フロンティア事業）（2022年5月13日現在）

 : 医療機器
 : 非医療機器

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度～
	ウェアラブル脳波計 (認証) 				
手指麻痺用ニューロリハビリ機器 (認証) *1 	自動採血・保存デバイス 		バイオレットライト (うつ) 		デジタルうつ病診断医療機器 
認知症周辺症状用機器 (介護用途) *2 	難聴者用マルチ会話表示デバイス 	バイオレットライト (うつ) 	バイオレットライト (認知症) 		認知症周辺症状用機器 (承認) 
メンタルヘルスVRコンテンツ*3 	ウェアラブル脳波計 	バイオレットライト (認知症) 	手指麻痺用ニューロリハビリ機器 (承認) 	社交不安障害用VRコンテンツ 	VR事業 (疾患拡大) 

*1 認証医療機器「能動型展伸・屈伸回転運動装置」（一般名収載）として当社が販売予定

*2 主に提携先（Aikomi社：当社関連会社）により本格販売予定

*3 主に提携先（BehaVR社）により販売予定（利益は両社で折半）

「MELTz手指運動リハビリテーションシステム」について（2022年6月30日現在）

- 一般的名称「能動型展伸・屈伸回転運動装置」として医療機器認証を取得済み
- 製造販売元：メルティンMMI、販売（予定）：住友ファーマ
- 2022年度内販売開始を目指し準備中

